

目 次

1. 令和 2 年度例会のご案内
2. 令和 2 年度より広島大学マスターズの代表幹事が交代しました
 - (1) ご挨拶 谷本能文代表幹事
 - (2) 退任のご挨拶 渡部和彦前代表幹事
3. 広島大学マスターズ広島創立 10 周年によせて
 - (1) 広島大学マスターズ広島創立 10 周年を祝して
 - (2) 広大マスターズ広島の創設 10 年に思うこと
4. 広島大学の教育事業に本年度も参加しています
 - (1) 平和科目のオンライン授業実施について
5. “新型コロナ禍”によるマスターズの行事・事業への影響について
 - (1) 酒まつり懇親会
 - (2) 東広島市民講座
 - (3) 広島リカレント学院講座
 - (4) ちゅーピーカルチャーセンター講座
6. その他
 - (1) 新入会員について

1. 令和 2 年度例会のご案内

広大構内・二神山コース

(第 26 回広大マスターズ例会；第 10 回広大マスターズ ウォーキング大会)

日 時：2020 年 9 月 13 日（日）午前 9 時 00 分～午後 13 時 00 分

集合場所と時間：広大教育学部前（北側芝生広場）に 9：00 集合

コ ー ス：教育学部前—広大構内—二神山—教育学部前着

内 容：二神山コースの他に広大構内コースを予定。コース案内係と共に、構内を散策し、二神班と 11:30 前後にスタート地点で合流します。

参 加 費：200 円（保険代）

参加対象：会員（同家族・友人）、友の会会員（同家族・友人）、東広島市健康づくりウォーキング友の会（役員・等）

そ の 他：少雨決行；各自昼の弁当＋飲み物をご用意ください。

申 込 先：渡部担当幹事宛 (kazuwp@hiroshima-u.ac.jp) 9 月 6 日（日）締め切り。ただしメールを用いない方は渡部幹事の携帯電話（090-2290-2495）へお申込ください（携帯電話をお持ちの方は携帯電話から 090-2290-2495 宛ショートメールでお申込ください）。

2. 令和2年度より広島大学マスターズの代表幹事が交代しました

「ご挨拶」

広大マスターズ代表幹事 谷本能文

最高気温 40℃を超えたとのニュースが、新型コロナウイルスのニュースとともにテレビで流れている今日ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、6月に、渡部和彦前代表幹事から代表幹事を引き継ぎました谷本能文です。代表を務めるような器ではありませんが、私のような者でも代表幹事が務まるという例になるかと思ひ、引き受けさせていただきました。会員の皆様とご一緒に、無理をしないで、出来る範囲で、ゆっくりとやっていきたいと思ひますので、ご協力よろしくお願ひします。

本会総会は、例年広島大学長様・東広島市長様などの来賓をお招きして開催していましたが、しかしながら、今年は新型コロナウイルスによる肺炎の大流行により、会員が一堂に集まったの集会の開催を断念し、はじめての試みになりますが、メールによる総会の開催とさせていただきます。事情をご理解頂ければ幸いです。

本会は、広島大学を退職し、主として現在東広島市に在住している者が、広島大学の行う社会連携等各種事業を支援し、併せて大学のある都市としてふさわしいまちづくりに協力するとともに、会員相互の親睦・交流等を深めることを目的としています。これから先の日本の繁栄を確かなものにするためには、科学・技術の進歩が不可欠であるといわれています。そのためには、知的好奇心の旺盛な子供たちを育てることが重要です。好きこそもののじょうずなれです。東広島市は「未来にはばたく国際学術研究都市」をスローガンにまちづくりを目指していますが、未来を支える子供たちの知育を強く意識した施策が少ないように思ひます。東広島市には、広島大学・近畿大学・広島国際大学・各種研究機関を退職した元教員・元研究者が多数住んでいます。これらの人的資源を有効に活用し、子供たちの知的好奇心を引き出すようなボランティア活動をしたらどうでしょうか。会員の皆様と一緒に考えてみたいと持っていますので、良いアイデアがあればご提案ください。

最後になりますが、広島大学マスターズ広島の会員の皆様、創設10周年おめでとうございます。例会・ミニ懇話会、広島大学から依頼の各種講義担当、NHK文化センター広島教室の講座担当等活発な活動に敬意を表します。これまで大変なご苦勞があったことでしょう。今後の一層のご発展を祈念しています。また、機会があればご一緒に事業を進めさせて頂きたいと思ひます。

以上、簡単ですが、あいさつに代えさせていただきます。

「退任のご挨拶」

広大マスターズ前代表幹事 渡部和彦

我が国は、現在、新型コロナウイルス禍の最中にあります。「ウイズコロナ」、「ポストコロナ」なる新語と共に、新たな生活・行動様式が模索されています。広大マスターズは、平和科目で「オンライン」での授業を経験しました。また、広大マスターズが関わる「広島リカレント学院」は、コロナ禍で広大の施設が使用できず、昨年10月からの一期生の授業が中断されています。コロナ禍は、広大マスターズにも大きな影を落としています。

さて、このような事態の到来を予測できぬまま、代表幹事の退任をお願い致しました。初代代表幹事、金田晋先生の後任として、2012年6月に就任以来、多くの皆様方の暖かいご支援・ご協力のおかげで、今日まで代表幹事としての役目を何とか務めさせていただきましたこと、心から感謝申し上げます。

代表幹事を引き継ぐにあたり、我々広大マスターズが次に目指すべき方向を論議し、その中で見えたことは、「広大マスターズ」の存在や活動を一般市民に広く知ってもらいたいということでした。そこで、「地域と共に、学びの場を拓く」の目標を掲げ、いくつかの新企画に挑戦しました。特に、「プレスネット社」には、「学びの窓」に続き、FM 東広島との連携で、「学びの時間」が企画され、会員の専門領域を市民に丁寧に解説する連載記事となりました。「カモンケーブル社」にも、大変協力をいただきました。

また、10周年記念事業を機に、「東広島の近未来語ろう」を軸とした市民フォーラム等の活動は、広大マスターズの「知名度アップ」に、若干の手ごたえを感じました。

広大マスターズは、やがて訪れるであろう、「ポストコロナ」の到来を見据え、更に充実した組織になることを、一会員として願っています。

これまで、暖かいご支援、ご協力をいただいた、市役所および、市内・外のご関係の皆様、そして、幹事・会員の皆様方に心から感謝申し上げます。

結びに、谷本能文新代表幹事のもと、広大マスターズの発展と、会員の皆様のご健勝を願っています。ありがとうございました。

3. 広島大学マスターズ広島創立 10 周年によせて

「広島大学マスターズ広島の創立 10 周年を祝して」

広島大学マスターズ前代表幹事 渡部和彦

広島大学マスターズ広島が、この度創立 10 周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。広島大学マスターズを代表して、心からお祝い申し上げます。私共、広島大学マスターズは、広島大学マスターズ広島と同様、会員同士の交流活動、広島大学との連携・協力、地域貢献活動等を行っています。我々は、かねてより、広島との組織的な交流活動を願っていましたが、地理的距離がいささか妨げになっていた感が致します。さて、医系学部の広島市への移転に伴う平和科目担当に加え、医系大学院生の共通基礎 科目の担当等、広島大学との連携・協力等々、重要な事業の展開に敬意を表します。個人的には、大学院の講義担当に係る検討会の一員として、当初より準備委員会に参加させていただき、組織編制・名称等、大学への提出書類づくりに、広島の先生方と共にご相談したことが思い出されます。今後の更なる充実・発展を心から期待いたしております。さて、我が国は、今まさにコロナ禍の真ただ中の中にいます。最近、緊急事態宣言が解かれたとは言え、第2、第3の波が押し寄せるのではと、国民の多くが危惧しています。広島大学は閉鎖が続き、学生は、対面式ではなく、「オンライン」で授業を受けている現状です。「平和科目」の講義も、不慣れたオンラインとのことです。世界規模で、様々なシステムが、「アフター・コロナ」社会で激変するといわれます。我々「両・マスターズ」も、これまでとは、異なる方法や内容で大学・地域への貢献が期待されるかもしれません。これまでの「両・マスターズ」間の交流行事としては、代表幹事が総会に招かれ、それぞれの現状紹介が主たる内容でしたが、今後さらに期待したいことは、「両・マスターズ」会員同士の交流です。昨年度、広大マスターズでは、海外研修：「第2次大戦の戦跡巡りと フィリピン表敬訪問」を企画したところ、広大マスターズ広島から、石丸紀興先生が参加 されました。おかげさまで、交流が実現し実り多い研修になりました。今後とも、「地理的距離」を埋める努力をと願っています。結びに、広島大学マスターズ広島が、10周年の節目を機に、更なるご発展と共に、会員の皆様方のご健勝を心より祈念申し上げます。

今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

「広大マスターズ広島の創設 10 年に思うこと」

広大マスターズ広島代表幹事 植木研介

広大マスターズ広島は兄貴分の広大マスターズが西条の地で設立総会を開催して 3 年半ばかり後に広島の地で誕生しました。当然のことながら 2020 年の 8 月をもって創設 10 周年を迎え、それを寿ぐ行事をいくつか準備していたのですがほとんどがコロナウィルス禍の中で雲散霧消しています。ただ一つ残っているのが会報の「創設 10 周年記念特集号」でこれは目下鋭意編集中で、そのために書いた原稿から漏れたいくつかの事柄を書き留めておこうと筆を執りました。

私の作成した個人年表を辿ると、マスターズ広島の設立総会が開かれた翌日、金田晋参与（広大マスターズでは当時代表幹事）から届いたメールは 2011 年度から広島大学で始まる全学必修となる「平和科目」の実施計画の案であることが改めて認識されます。それは西条キャンパスでの講義案でしたが、広島地区でも同様の計画を促すものであり、創立時の渡邊一雄代表幹事を中心に原案が纏められました。この「平和科目」は当時の浅原利正学長の提唱で 2008 年度入学生から始まった「学長からの宿題」という「平和レポート」がその出発点であることは皆様もご存知の通りです。マスターズ広島の創設はそうした切迫した時刻表の中から産まれたのだと納得しました。

1944 年に生まれた私は、原爆に遭いました。それゆえに PTSD という言葉で説明がつくと考える不定愁訴のため原爆の事を避けて生きてきましたが、50 歳を過ぎたころから、即ち、被爆後 50 年の時間が経過して次第に立ち直り、文学部での留学生向けの講義で「ヒロシマで学ぶことの意義」を 1 コマ語り、総合科学部で「戦争とヒロシマ」に関する講義の中でも話を頼まれていました。舟橋、田村、布川先生が主宰されていた講義です。同様のテーマを広島市立大学でも講じていました。ですから、マスターズ広島での前述のような誕生物語に巻き込まれたのは運命だと感じています。今も「平和と人間 D」の世話係をしていますが、健康が許せば 80 歳まではと念じています。

この文章は谷本能文新代表幹事から依頼されたのですが、HP を見ましたら在任期間が明示されていました。これまでマスターズ広島の代表幹事は健康問題で揺れてきました。渡邊一雄代表幹事が 2012 年 1 月末に脳梗塞になられた時、お見舞いに県病院に駆け付けた折、「植木君引き受けてくれ」との言葉で私が引き受けてしまいました。一雄先生が今も元気でおられるのを見ると不思議の国のアリスのような気分です。2015 年の夏、私が体調不良に陥ると井上研二先生がその後を受け継いでくださいました。私の体調不良からの気鬱は翌年のカープのセリーグ優勝で吹っ飛びましたが、2018 年 2 月に飛び交ったメールによると 1 月に明らかになった井上代表の体調不良の問題の時には、副代表幹事であった大杉節（元広島大学天文台長）君を軸に、なぜか、高等学校の同級生 3 人の話し合いとなり、私が再登板となりました。もう一人は鈴木盛久元附属東雲小学校長です。いずれも幹事会の審議を経て、総会で決める民主的手続きを取っていますが明朗ではありません。まず在任期間を定めることが肝要と知りました。広大マスターズに倣いたいと思っています。

4. 広島大学の教育事業に本年度も参与しています

「平和科目のオンライン授業実施について」

松田治男

昨年 11 月に中国武漢で最初に顕在化した肺炎は、今年に入って新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) として瞬く間に地球規模で拡大し、8 月 10 日現在で全世界 2000 万人以上の感染者がでる歴史に残る想像を超えたパンデミックとなりました。

広島大学では昨年度末に、2020 年の新年度を迎えるにあたって教育方法について議論が交わされオンライン授業の必要性が取り上げられました。学内ではオンライン授業の未経験者が大多数であることから急遽オンライン授業講習会が複数回開催されたようです (マスターズの私達には、この講習会の案内はありませんでした)。後日談ですが、4 月に入ってから、大学事務には教官・学生からの問い合わせ電話が毎日ひっきりなしにあったようです。教官・過年度生はさておき、新入生にとっては想像を超える苦難に直面したことが容易に想像され、藁にもすがる思いで問い合わせをしていたことでしょう。

4 月 6 日に、教育本部全学教育統括部企画運営会議長より 2020 年度の教養教育担当の教官に授業形態についての至急の問い合わせが来ました。授業形態として、従来通りの対面式に加え、オンライン形式やオンデマンド形式などで、平和と人間 A および B の授業担当者への意向を伺ったところ、返事を頂いた先生方の多くが対面形式を希望されました。

第 2 タームに入る前までに、私と教養事務の間でこれまでにない頻繁な電話やメールのやり取りがありました。実質的に全ての平和科目はオンライン形式 (オンデマンド形式も可) という方向になり、6 月に入ってマスターズが受け持つ平和と人間 A と B は、難波先生を除く全員がオンライン形式で授業することとなりました (最終的には難波先生もオンラインで授業を行いました)。当初、私がオンライン授業法を正確に頭に入れ、授業担当の先生方に伝えることを考えましたが、間違いがあってはならないことから担当の TA が事務から指導を受け、本番の授業では TA が授業をサポートする方式としました。8 月 10 日に最後の 15 回目の授業を午前 (A)・午後 (B) と私が担当し、全授業を無事終了することができました。

私達のオンライン授業は不安がいっぱいで始まったものの、結果的にはオンライン世代に一步近づけた初体験となったようにも思います。

5. “新型コロナ禍” によるマスターズの行事・事業への影響について

(1) 酒まつり懇親会

例年行っていた西条酒まつり広大マスターズ懇親会を、新型コロナウイルス感染防止の観点から、今年中止とします。なお、コロナウイルスの猛威が収まったら、何らかの形で懇親会を開くことを検討したいと思います。(谷本能文記)

(2) 東広島市民講座

今年度前期の「中国語入門1」は、多数の受講生と会話が基本活動のためか、新型コロナウイルス感染防止のために中止となった。「小学生のための実戦的な将棋講座」は、小学校の夏期休業日程変更に伴い講座日程も変更し実施した。後期の予定は、計画通りのタイトル「万葉集—歌と精神—」、「中国語入門2」、「市民生活に身近な法律問題」で変更は無いが、当初予定の定員40名から半分の20名にする計画で進められている。(三浦省五記)

(3) コロナ禍に翻弄された—広島リカレント学院—

新型コロナウイルスの世界的蔓延は、わが国でも収束の気兆しが見えぬまま、盆休みを迎えます。さて、「広島リカレント学院」は、昨年10月の開講後、コロナ禍の為、全40回の開講予定が、20回目で休止となりました。その後、広島から施設の使用許可を得て、2020年9月2日(水)再開の運びとなりました。講義日程の変更、コロナ対策の周知・徹底を受講生等に通知しての再開です。(渡部和彦記)

(4) ちゅーピーカルチャーセンター講座、一時期教室閉鎖、やっと再開

当講座もコロナの影響を受けた。4月前半こそ授業はできたが、後半と5月、教室閉鎖。6月やっと再開。入口では消毒薬で手洗い、マスクは必須。教室内では、講師、受講生とも指定の距離をとった。難波平人講師「水彩・油絵」(毎月第1金曜日)、4月3日開講、6月再開(5月分は6月に補講)。金田晋講師(毎月第2・第4金曜日)、4月後半と5月前・後半の3回休講。6月に再開した。講座をずっと開けることが全員の願いである。(金田 晋記)

6. その他

(1) 新入会員について

本年度は下記の6名の新入会がありました。

池田義明氏(元生生練習船)

岡本祐子氏(元教育研)

小原政信氏(元統合生命研)

谷本秀康氏(元総科研)

古澤修一氏(元統合生命研)

吉田光演氏(元総科研)

【広島大学マスターズ事務局】

(郵便物宛先) 〒739-8601 東広島市西条栄町8-29

東広島市市民協働センター内 メールボックス No.5「広大マスターズ」

Eメール: masters@hiroshima-u.ac.jp

URL:(会員版) <http://home.hiroshima-u.ac.jp/masters/>

(かわら版) <http://hirodaimasters.web.fc2.com/index.html>